

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証願います(提出期限 8月12日(金))。検証は法人ごとに行うもので、法人間の比較を行うものではありません。 委員氏名 []

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

1ブロック : 1-1-1 より質の高い医療の提供 ~ 1-1-3 診療体制の充実

1-1-1 より質の高い医療の提供

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																								
H27年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H27年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H27年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																							
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																																							
<p>項目番号 01</p> <p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>MR I、CT等の高度先進医療機器を計画的に更新・整備を行い、第2期中期計画期間中(平成31年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。</p>	<p>IV</p> <p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>・高額の機器に関しては、稼働状況・費用対効果等を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。</p> <p>○代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名等</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)</td> <td>小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用</td> </tr> <tr> <td>全身用コンピュータ断層装置(CT装置)</td> <td>小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置</td> <td>循環器内科領域において使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3千万円以上の高額機器</p> <p>○更新・整備を実施した機器の稼働件数 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名/年度</th> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット(ダヴィンチ)</td> <td>H24</td> <td>50</td> <td>88</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>H25</td> <td>0</td> <td>26,316</td> <td>26,476</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>H25</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>H25</td> <td>410</td> <td>861</td> <td>1,180</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡</td> <td>H26</td> <td>-</td> <td>8</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>循環器画像保存システム</td> <td>H26</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>2,454</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>H26</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>8,518</td> </tr> <tr> <td>全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)</td> <td>H27</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置</td> <td>H27</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>263</td> </tr> </tbody> </table>	機器名等	整備目的・用途等	全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用	全身用コンピュータ断層装置(CT装置)	小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用	心臓血管撮影装置	循環器内科領域において使用	機器名/年度	年度	H25	H26	H27	内視鏡手術支援ロボット(ダヴィンチ)	H24	50	88	131	X線CT装置	H25	0	26,316	26,476	エキシマレーザー血管形成装置	H25	30	22	14	ハイブリッド手術システム	H25	410	861	1,180	手術用顕微鏡	H26	-	8	96	循環器画像保存システム	H26	-	0	2,454	内視鏡ファイリングシステム	H26	-	0	8,518	全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	H27	-	-	316	心臓血管撮影装置	H27	-	-	263	<p>IV</p> <p>項目番号 01</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>・高度医療機器について、平成24年度に作成した中期的な整備計画の見直しを行う。</p> <p>・老化が進んでいる血管撮影装置などの高度医療機器の更新・整備を行う。</p> <p>・診療機能・施設の再編整備に向けて、病床機能や規模、将来予測等をふまえた検討を行う。</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>・看護職員修学資金貸付などの支援制度を継続実施する。</p> <p>・ガイダンスへの参加、学校訪問等を積極的に行うとともに、インターネットや新聞などの広報媒体を活用した看護師、コメディカルの募集活動を実施する。</p> <p>・定年を向かえた医師、看護師等のうち、病院経営に寄与すると認められる職員の再雇用を実施する。</p> <p>・大学医局との連携などによる医師確保に努める。</p> <p>・業務負担軽減を推進するための医師事務作業補助者や看護事務補助者などの確保に努める。</p> <p>・医師事務作業補助者の業務のあり方について他院の取組み等を研究し、業務内容の検証及び研修体制を拡充し質の向上を図り、さらなる医師の負担軽減を推進する。</p> <p>・仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用を推進や、院内保育施設での夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに柔軟に対応できる体制づくりに努める。</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>・名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学等と連携し、関連する各診療科の医師の教育研修等を継続する。</p> <p>・岐阜県医師確保育成コンソーシアム及び名古屋大学卒業臨床研修・キャリア形成支援センターと連携し、医師としての資質向上を図る。</p> <p>・臨床研修病院の質の改善・向上を図り、良い医師を育てる研修プログラムとするため、卒後臨床研修評価機構による施設</p>	<p>IV</p> <p>項目番号 01</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>・高度・先進医療、急性期医療、政策医療等が提供できるよう病床機能や規模、将来予測等をふまえた新中央診療棟整備の基本構想の策定を図った。また、主要医療機器の更新・整備計画に基づき、「血管撮影装置」など高度先進医療機器を整備した。</p> <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血管撮影装置</td> <td>血管の病変(動脈硬化等)及び病態(うっ血等)の診断を行い、病変・病態に対応する手技(血管形成手術等)を行う際に使用</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>腹部の消化器系の検査(膵・胆管造影、大腸ファイバー等)及び治療に使用</td> </tr> <tr> <td>手術顕微鏡システム</td> <td>超微小手術を施行する際に使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>・より質の高い診療の提供ができるよう大学医局との連携による医師確保、ガイダンスで募集活動、看護職員修学資金貸付などの支援制度により、医療従事者の充実を行った。</p> <p>【医療従事者数】 単位: 人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>115</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>451</td> <td>463</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>143</td> <td>149</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>・臨床研修の質の改善・向上を図り、良い医師を育てる研修プログラムとすることで、卒後臨床研修評価機構による施設調査を平成28年2月に受審し、平成28年3月にはその認定を受けた。</p>	機器名	整備目的・用途	血管撮影装置	血管の病変(動脈硬化等)及び病態(うっ血等)の診断を行い、病変・病態に対応する手技(血管形成手術等)を行う際に使用	X線TV装置	腹部の消化器系の検査(膵・胆管造影、大腸ファイバー等)及び治療に使用	手術顕微鏡システム	超微小手術を施行する際に使用		H26	H27	医師	115	124	看護師・助産師	451	463	コメディカル	143	149	<p>III</p> <p>項目番号 01</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>病院移転後の財務状況から、高額な機器については補助金等の活用を図ることを更新・整備の条件としていた。</p> <p>27年度に更新を予定していた核医学検査装置及び手術用顕微鏡システムについては、補助事業採択を得られなかったため、平成28年度に、各種助成制度等を活用して購入する予定。(●)</p> <p>【更新・整備を行った高度医療機器の稼働件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム</td> <td>H25</td> <td>777</td> <td>980</td> <td>1,059</td> </tr> <tr> <td>X-TV透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>-</td> <td>314</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装1.5T)</td> <td>H25</td> <td>-</td> <td>2,846</td> <td>3,321</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26,H27 高度医療機器の整備実績なし</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>○医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師募集エージェントへの登録(インターネットの活用) 5社に募集情報を登録 医師採用窓口アウトソーシングサービスとの契約締結 常勤医不在の診療科(小児科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科)及び常勤医不足の診療科については、大学病院・県総合医療センター等からの支援医師(非常勤)により、診療体制を確保して診療を実施し、地域県民ニーズに対応した医療の推進を図った。 <p>【診療依頼延べ回数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,842 回</td> <td>1,774 回</td> <td>2,008 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <p>看護部において、ワークライフバランス(WLB:仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み)の推進に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 退職後の看護師が患者搬送を中心となって行うポーター制度を導入することにより、病棟看護師が部署を離れずケアに専念できるよう取り組んだ。 安全で安心な看護そして拘束時間短縮につながるよう一部の病棟でPNS看護提供方式の試行、非常勤看護師や看護補助者の勤務パターンを増やすなどにより、看護職員の負担を軽減 	機器名	整備年度	25年度	26年度	27年度	内視鏡ビデオシステム	H25	777	980	1,059	X-TV透視診断装置	H25	-	314	311	MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装1.5T)	H25	-	2,846	3,321	25年度	26年度	27年度	1,842 回	1,774 回	2,008 回
機器名等	整備目的・用途等																																																																																																											
全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用																																																																																																											
全身用コンピュータ断層装置(CT装置)	小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用																																																																																																											
心臓血管撮影装置	循環器内科領域において使用																																																																																																											
機器名/年度	年度	H25	H26	H27																																																																																																								
内視鏡手術支援ロボット(ダヴィンチ)	H24	50	88	131																																																																																																								
X線CT装置	H25	0	26,316	26,476																																																																																																								
エキシマレーザー血管形成装置	H25	30	22	14																																																																																																								
ハイブリッド手術システム	H25	410	861	1,180																																																																																																								
手術用顕微鏡	H26	-	8	96																																																																																																								
循環器画像保存システム	H26	-	0	2,454																																																																																																								
内視鏡ファイリングシステム	H26	-	0	8,518																																																																																																								
全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	H27	-	-	316																																																																																																								
心臓血管撮影装置	H27	-	-	263																																																																																																								
機器名	整備目的・用途																																																																																																											
血管撮影装置	血管の病変(動脈硬化等)及び病態(うっ血等)の診断を行い、病変・病態に対応する手技(血管形成手術等)を行う際に使用																																																																																																											
X線TV装置	腹部の消化器系の検査(膵・胆管造影、大腸ファイバー等)及び治療に使用																																																																																																											
手術顕微鏡システム	超微小手術を施行する際に使用																																																																																																											
	H26	H27																																																																																																										
医師	115	124																																																																																																										
看護師・助産師	451	463																																																																																																										
コメディカル	143	149																																																																																																										
機器名	整備年度	25年度	26年度	27年度																																																																																																								
内視鏡ビデオシステム	H25	777	980	1,059																																																																																																								
X-TV透視診断装置	H25	-	314	311																																																																																																								
MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装1.5T)	H25	-	2,846	3,321																																																																																																								
25年度	26年度	27年度																																																																																																										
1,842 回	1,774 回	2,008 回																																																																																																										
<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>・必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、計画的・効果的な職員採用に努める。</p> <p>・特に7:1看護体制を確保するために、看護師採用は随時実施する。</p> <p>・引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者(医師)の再雇用制度を効果的に運用する。</p> <p>・医師事務作業補助職員、看護事務補助職員等の配置を充実させる。</p>	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>・年度当初看護師人数(H26:590人 → H27:619人)の増員などで、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、7:1看護体制を上回る体制を確保できた。</p> <p>○医師等の確保状況 単位: 人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>152</td> <td>161</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>542</td> <td>574</td> <td>597</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度末現在</p>	項目/年度	H25	H26	H27	常勤医師数	152	161	167	常勤歯科医師数	3	3	3	常勤看護師数	542	574	597	<p>III</p> <p>項目番号 01</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>病院移転後の財務状況から、高額な機器については補助金等の活用を図ることを更新・整備の条件としていた。</p> <p>27年度に更新を予定していた核医学検査装置及び手術用顕微鏡システムについては、補助事業採択を得られなかったため、平成28年度に、各種助成制度等を活用して購入する予定。(●)</p> <p>【更新・整備を行った高度医療機器の稼働件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム</td> <td>H25</td> <td>777</td> <td>980</td> <td>1,059</td> </tr> <tr> <td>X-TV透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>-</td> <td>314</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装1.5T)</td> <td>H25</td> <td>-</td> <td>2,846</td> <td>3,321</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26,H27 高度医療機器の整備実績なし</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>○医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師募集エージェントへの登録(インターネットの活用) 5社に募集情報を登録 医師採用窓口アウトソーシングサービスとの契約締結 常勤医不在の診療科(小児科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科)及び常勤医不足の診療科については、大学病院・県総合医療センター等からの支援医師(非常勤)により、診療体制を確保して診療を実施し、地域県民ニーズに対応した医療の推進を図った。 <p>【診療依頼延べ回数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,842 回</td> <td>1,774 回</td> <td>2,008 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <p>看護部において、ワークライフバランス(WLB:仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み)の推進に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 退職後の看護師が患者搬送を中心となって行うポーター制度を導入することにより、病棟看護師が部署を離れずケアに専念できるよう取り組んだ。 安全で安心な看護そして拘束時間短縮につながるよう一部の病棟でPNS看護提供方式の試行、非常勤看護師や看護補助者の勤務パターンを増やすなどにより、看護職員の負担を軽減 	機器名	整備年度	25年度	26年度	27年度	内視鏡ビデオシステム	H25	777	980	1,059	X-TV透視診断装置	H25	-	314	311	MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装1.5T)	H25	-	2,846	3,321	25年度	26年度	27年度	1,842 回	1,774 回	2,008 回																																																																
項目/年度	H25	H26	H27																																																																																																									
常勤医師数	152	161	167																																																																																																									
常勤歯科医師数	3	3	3																																																																																																									
常勤看護師数	542	574	597																																																																																																									
機器名	整備年度	25年度	26年度	27年度																																																																																																								
内視鏡ビデオシステム	H25	777	980	1,059																																																																																																								
X-TV透視診断装置	H25	-	314	311																																																																																																								
MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装1.5T)	H25	-	2,846	3,321																																																																																																								
25年度	26年度	27年度																																																																																																										
1,842 回	1,774 回	2,008 回																																																																																																										

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																																																																																																																											
H27年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H27年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H27年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																																																																																																																																										
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点(●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点(●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点(●) 	自己評価																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。また高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。 <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> より水準の高い看護を提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、または認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。 <p>○平成27年度 受講予定 認定看護師2人、認定看護管理4名(ファーストレベル4人)</p> <p>岐阜県立看護大学大学院看護学研究科看護学専攻(専門看護師コース)1人 岐阜県専任教員養成講習会1人</p> <p>○平成27年度 資格試験予定 認定看護師2人</p>	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度専門医療の水準の維持・向上のため、医師の研修派遣を積極的に推進した。 <p>○専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績 H26:778件 → H27:918件</p> <p>○医師の研修派遣・受入実績 単位:件</p> <table border="1"> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>派遣</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保した。その結果、認定看護師等資格取得者や学会等への参加者が増加した。 <p>○認定看護師等資格取得状況 単位:人</p> <table border="1"> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>認定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん化学療法</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>25</td> </tr> </table> <p>○研修実績</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td> <p>【長期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア H26.10.1~H27.3.31 1人 慢性心不全看護 H26.10.1~H27.3.31 1人 認定看護管理者(サード) H26.9.1~H26.11.19 1人 (※H27資格取得) <p>【短期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護管理制度 H26:6人→H27:1人 実習指導者講習会 H26:1人→H27:2人 </td> </tr> </table>	項目/年度	H25	H26	H27	派遣	9	4	3	受入	6	7	5	項目/年度	H25	H26	H27	認定				がん化学療法	2	2	2	がん性疼痛	1	1	1	感染管理	2	3	3	救急看護	1	2	2	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	集中ケア	1	1	1	糖尿病看護	1	1	1	がん放射線療法看護	1	1	1	乳がん看護	-	1	1	認定看護管理者	1	1	2	慢性心不全	-	-	1	緩和ケア	-	-	1	計	16	19	22	専門				小児看護	2	2	2	がん看護	1	1	1	計	3	3	3	合計	19	22	25	項目	内容	認定看護師	<p>【長期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア H26.10.1~H27.3.31 1人 慢性心不全看護 H26.10.1~H27.3.31 1人 認定看護管理者(サード) H26.9.1~H26.11.19 1人 (※H27資格取得) <p>【短期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護管理制度 H26:6人→H27:1人 実習指導者講習会 H26:1人→H27:2人 	<p>認定を取得する。</p> <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得のための研修を計画的に実施するなどの支援を行う。 「感染管理認定看護師」 「皮膚・排泄ケア認定看護師」 「がん専門看護師」 <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き国、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行う。 <p>薬剤部</p> <ul style="list-style-type: none"> <支援認定資格> <ul style="list-style-type: none"> 各種専門薬剤師、 認定薬剤師 指導薬剤師 その他 <講習・研修等> <ul style="list-style-type: none"> 各種学会、研修会、講演会等への参加を図り、優れた技能・知識を有する薬剤師の養成 <p>中央放射線部</p> <ul style="list-style-type: none"> <支援認定資格> <ul style="list-style-type: none"> マンモグラフィ撮影認定技師 IVR専門放射線技師 医学物理士 放射線治療品質管理士 放射線治療専門放射線技師 日本磁気共鳴専門技術者 医療画像情報管理士 肺がんCT検診認定技師 その他 <講習・研修等> <ul style="list-style-type: none"> 日本医学物理士講習会 日本放射線技師専門放射線技師認定機構統一講習会 日本放射線治療品質管理機構放射線治療品質管理講習会 その他各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 <p>臨床検査科</p> <ul style="list-style-type: none"> <支援認定資格> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 認定臨床微生物検査技師 認定血液検査技師 血管診療技師 糖尿病療養指導士 各種臨床検査士 その他各種学会認定資格 <講習・研修等> <ul style="list-style-type: none"> 各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 労働安全衛生法による作業主任者講習 <p>臨床工学部</p> <ul style="list-style-type: none"> <支援認定資格> <ul style="list-style-type: none"> 体外循環技術認定士 呼吸療法認定士 透析療法認定士 不整脈治療専門認定士 呼吸治療専門認定士 血液浄化専門認定士 内視鏡専門技師 医療機器情報コミュニケーター <講習・研修等> <ul style="list-style-type: none"> 各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 	<p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> より水準の高い看護を提供するため、認定看護師等長期研修3カ年計画に基づき、感染管理認定看護師、がん専門看護師の資格取得に支援を行った。 <p>【認定看護師・専門看護師数】 単位:人(各年度末時点)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>分野</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td rowspan="13">認定</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>がん看護</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>急性・救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度、コメディカル各部門において専門・階層別研修に関する方針・計画を作成するとともに、新たに設置したコメディカル研修委員会で合同研修計画を作成し、教育や研修会を実施し、最新の医療技術や知識習得を図った。 <p>※階層別合同研修会・研修講演会の実施:年8回</p> <p>【コメディカル専門研修の参加人数】 単位:人</p> <table border="1"> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>28</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>39</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>51</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>13</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>41</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>191</td> <td>200</td> </tr> </table>	区分	分野	H26	H27	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	集中ケア	2	2	緩和ケア	1	1	がん化学療法看護	1	1	がん性疼痛看護	1	1	感染管理	2	2	新生児集中ケア	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	救急看護	1	1	慢性心不全看護	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	糖尿病看護	1	1	認知症看護	1	1	認定看護管理者	1	1	専門	がん看護	2	2	急性・救急看護	1	1	区分\年度	H26	H27	薬剤師	28	30	臨床検査技師	39	41	放射線技師	51	76	臨床工学技士	13	19	リハビリ技師	19	18	管理栄養士	41	16	合計	191	200	<ul style="list-style-type: none"> 医師の業務負担の軽減を図るため、医師事務作業補助者を充実するほか、看護師が医療業務に専念できるように病棟事務補助者の設置に向けた取組 再就職支援者研修を開催するなど看護師負担の軽減とともに高い患者サービスも可能な看護体制維持に必要な看護師数の確保 <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の連携により多くの臨床研修医の受入れと指導体制の充実を図り、特に地域医療を志す医師の養成を行う。</p> <p>4 認定看護師等看護の専門性を高める資格取得の促進</p> <p>患者及びその家族に接する機会が多い看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、各種認定看護師等看護の専門性を高める資格取得を促進する。新卒看護職員卒業研修やラダー研修(キャリアアップの階層研修)を開催し、看護実践能力の習得を支援する。</p> <p>平成27年度は、摂食嚥下ケア認定看護師の資格取得を目指して、認定看護師教育機関が実施する認定看護師教育課程並びに認定看護管理者教育課程を受講する。また、eラーニング(Electronic Learning)による研修を推進する。</p>	<p>減し、働きやすい職場作りを目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> WLB推進事業委員会を毎月開催し、院内誌「かえる通信」(年4回発行)を通じて、職員紹介、福利厚生情報等の提供を行った。 法人化のメリットである弾力的な職員採用を行い、平成27年度中に随時募集をかけ、看護体制の維持に必要な看護師等を確保した。 <p>【看護師等に係る採用活動の実績】</p> <table border="1"> <tr> <th>職種別</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>(常勤) 看護師</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(非常勤) 看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>※各年度4.1採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>協力型の臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修(1ヶ月)」について他病院の臨床研修医の受入れを行った。</p> <p>【受入状況】</p> <table border="1"> <tr> <th>病院名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>5名</td> <td>5名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>県総合医療センター</td> <td>0名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>7名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12名</td> <td>10名</td> <td>7名</td> </tr> </table> <p>4 認定看護師等看護の専門性を高める資格取得の促進</p> <p>○認定看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> 摂食嚥下認定看護師 1名合格 認定看護管理者養成教育課程 1名受講 ファーストレベル 1名終了認定 <p>○「新人看護職員教育研修」に従事する職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修責任者研修 2名 教育担当者研修 1名 実地指導者研修 2名 <p>○その他の専門研修参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護補助者活用推進研修 2名 災害ナース育成フォローアップ 1名 重症度・医療・看護必要度院内指導者研修 1名 <p>【認定看護師数】(各年度末時点)</p> <table border="1"> <tr> <th>分野</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>皮膚排泄ケア</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>5名</td> </tr> </table>	職種別	H26	H27	(常勤) 看護師	9	8	助産師	-	1	保健師	2	-	(非常勤) 看護師	3	3	(業務補助) 看護師	4	5	病院名	25年度	26年度	27年度	岐阜大学医学部附属病院	5名	5名	3名	県総合医療センター	0名	3名	4名	岐阜市民病院	7名	2名	0名	計	12名	10名	7名	分野	25年度	26年度	27年度	皮膚排泄ケア	1名	1名	1名	感染管理	1名	1名	1名	脳卒中リハビリテーション	1名	1名	1名	緩和ケア	1名	1名	1名	摂食・嚥下	0名	0名	1名	計	4名	4名	5名
項目/年度	H25	H26	H27																																																																																																																																																																																																																																																														
派遣	9	4	3																																																																																																																																																																																																																																																														
受入	6	7	5																																																																																																																																																																																																																																																														
項目/年度	H25	H26	H27																																																																																																																																																																																																																																																														
認定																																																																																																																																																																																																																																																																	
がん化学療法	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																														
がん性疼痛	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
感染管理	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																																														
救急看護	1	2	2																																																																																																																																																																																																																																																														
小児救急	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
摂食・嚥下障害	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																														
新生児集中ケア	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
集中ケア	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
糖尿病看護	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
がん放射線療法看護	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
乳がん看護	-	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
認定看護管理者	1	1	2																																																																																																																																																																																																																																																														
慢性心不全	-	-	1																																																																																																																																																																																																																																																														
緩和ケア	-	-	1																																																																																																																																																																																																																																																														
計	16	19	22																																																																																																																																																																																																																																																														
専門																																																																																																																																																																																																																																																																	
小児看護	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																														
がん看護	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
計	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																														
合計	19	22	25																																																																																																																																																																																																																																																														
項目	内容																																																																																																																																																																																																																																																																
認定看護師	<p>【長期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア H26.10.1~H27.3.31 1人 慢性心不全看護 H26.10.1~H27.3.31 1人 認定看護管理者(サード) H26.9.1~H26.11.19 1人 (※H27資格取得) <p>【短期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護管理制度 H26:6人→H27:1人 実習指導者講習会 H26:1人→H27:2人 																																																																																																																																																																																																																																																																
区分	分野	H26	H27																																																																																																																																																																																																																																																														
認定	皮膚・排泄ケア	2	2																																																																																																																																																																																																																																																														
	集中ケア	2	2																																																																																																																																																																																																																																																														
	緩和ケア	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	がん化学療法看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	がん性疼痛看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	感染管理	2	2																																																																																																																																																																																																																																																														
	新生児集中ケア	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	摂食・嚥下障害看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	救急看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	慢性心不全看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	糖尿病看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
	認知症看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
認定看護管理者	1	1																																																																																																																																																																																																																																																															
専門	がん看護	2	2																																																																																																																																																																																																																																																														
	急性・救急看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																														
区分\年度	H26	H27																																																																																																																																																																																																																																																															
薬剤師	28	30																																																																																																																																																																																																																																																															
臨床検査技師	39	41																																																																																																																																																																																																																																																															
放射線技師	51	76																																																																																																																																																																																																																																																															
臨床工学技士	13	19																																																																																																																																																																																																																																																															
リハビリ技師	19	18																																																																																																																																																																																																																																																															
管理栄養士	41	16																																																																																																																																																																																																																																																															
合計	191	200																																																																																																																																																																																																																																																															
職種別	H26	H27																																																																																																																																																																																																																																																															
(常勤) 看護師	9	8																																																																																																																																																																																																																																																															
助産師	-	1																																																																																																																																																																																																																																																															
保健師	2	-																																																																																																																																																																																																																																																															
(非常勤) 看護師	3	3																																																																																																																																																																																																																																																															
(業務補助) 看護師	4	5																																																																																																																																																																																																																																																															
病院名	25年度	26年度	27年度																																																																																																																																																																																																																																																														
岐阜大学医学部附属病院	5名	5名	3名																																																																																																																																																																																																																																																														
県総合医療センター	0名	3名	4名																																																																																																																																																																																																																																																														
岐阜市民病院	7名	2名	0名																																																																																																																																																																																																																																																														
計	12名	10名	7名																																																																																																																																																																																																																																																														
分野	25年度	26年度	27年度																																																																																																																																																																																																																																																														
皮膚排泄ケア	1名	1名	1名																																																																																																																																																																																																																																																														
感染管理	1名	1名	1名																																																																																																																																																																																																																																																														
脳卒中リハビリテーション	1名	1名	1名																																																																																																																																																																																																																																																														
緩和ケア	1名	1名	1名																																																																																																																																																																																																																																																														
摂食・嚥下	0名	0名	1名																																																																																																																																																																																																																																																														
計	4名	4名	5名																																																																																																																																																																																																																																																														

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																													
H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																												
	自己評価	・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)		自己評価	・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)		自己評価	・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)																																																																																																																											
<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <p>・希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種研修会・講習会等への参加のための支援を行う。</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学物理士 ・救急撮影認定技師 ・MR 専門技術者 ・放射線治療品質管理士 ・検診マンモグラフィ師 ・診療放射線技師実習施設指導者講習会 ・PET サマーセミナー ・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査士 ・超音波検査士 (循環器、消化器等) ・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・血管診療技師 ・認定心電検査技師 ・日本エコー学会認定検査技師 ・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師 ・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士 ・二級臨床検査技師 (微生物学、病理学等) ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん専門薬剤師 ・感染制御専門薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・小児薬物療法認定薬剤師 ・緩和薬物療法認定薬剤師 	<p>・医療安全研修 H26:2 人→H27:1 人</p> <p>・岐阜県教員養成講習会 H26:0 人→H27:1 人</p> <p>学会等参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 <p>延べ H26:585 人→H27:602 人</p>	<p>リハビリテーション科</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリテーション指導士 ・3 学会合同呼吸療法認定士 ・日本糖尿病療養指導士 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんのリハビリテーション研修 ・高次脳機能障害支援事業にともなう、必要な知識、診療に関する研修会 ・内部障害関連 (呼吸、循環、代謝) に関する研修、講習会 ・手の外科 (ハンドセラピー) 関連の知識、技術の習得 ・脳卒中急性期の作業療法に対するの更なる知識の習得 ・ICU、HCU 等急性期リハビリテーション知識、技術の習得 ・摂食、嚥下療法関連の知識、技術の習得 ・病棟専従療法士の技術の習得、関連研修 ・理学療法学会、作業療法学会、言語聴覚学会 	<p>6 EBM の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの実績の検証を通して、その内容の充実を図った。 <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名 \ 年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>循環器科</td> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>93</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>198</td> <td>208</td> </tr> </tbody> </table> <p>【クリニカルパス種類数・使用数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 \ 年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数 (単位:種)</td> <td>141</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>使用数 (単位:件)</td> <td>6,522</td> <td>6,344</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで活動を継続してきた ICT (感染防止対策チーム)、NST (栄養サポートチーム)、RST (呼吸サポートチーム) 及び PCT (緩和ケアチーム) に加え、精神リエゾンチームによる活動を開始した。 <p>8 メディカカードの導入などの IT の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディカカードの導入に必要な環境整備 (カード発行端末及び読み取り端末の設置) をし、20 人の発行を行った。 <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療の質及び安全の確保への意識向上を目的に、職員対象に医療安全推進週間での「医療安全川柳コンテスト」の実施をした。 ・高齢者の割合が増え、転倒・転落による骨折などのアクシデントが多くなったため、患者や家族を交えた環境対策などを行った。 <p>【インシデント・アクシデント件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 \ 年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,661</td> <td>3,765</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,681</td> <td>3,795</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療安全講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 視聴</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新しい医療事故調査制度について(9/15)</td> <td>531</td> <td>405</td> <td>—</td> <td>91.0</td> </tr> </tbody> </table>	診療科名 \ 年度	H26	H27	産婦人科	28	28	整形外科	36	36	呼吸器科	3	3	外科・消化器外科	26	26	循環器科	12	13	その他	93	102	合計	198	208	区分 \ 年度	H26	H27	種類数 (単位:種)	141	124	使用数 (単位:件)	6,522	6,344	区分 \ 年度	H26	H27	インシデント	3,661	3,765	アクシデント	20	30	合計	3,681	3,795	テーマ (開催日)	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)	新しい医療事故調査制度について(9/15)	531	405	—	91.0	<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。</p> <p>【コメディカルの研修会・学会参加人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>6 名</td> <td>5 名</td> <td>8 名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>9 名</td> <td>11 名</td> <td>12 名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>12 名</td> <td>12 名</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>2 名</td> <td>14 名</td> <td>15 名</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>12 名</td> <td>22 名</td> <td>24 名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1 名</td> <td>3 名</td> <td>4 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>42 名</td> <td>67 名</td> <td>70 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 EBM の推進</p> <p>電子カルテ運用において、診療の標準化を図るためのシステム設定を必要に応じ実施し、医療情報システムの有効活用を努めた。</p> <p>今後、地域包括ケア病棟の利用を推進することで、7：1 病棟の平均在院日数の短縮を図り、また、介護施設を含む在宅復帰を支援するため、クリニカルパスの見直し、改善、作成に取り組む。</p> <p>【クリニカルパス種類数・使用数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(産婦人科) 種類数</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>258</td> <td>298</td> <td>265</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>98.8</td> <td>99.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>(内科) 種類数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>55</td> <td>71</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>(小児科) 種類数</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>—</td> <td>133</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>—</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <p>各分野毎に委員会を組織し、課題や対策等の検討を行うなど、チーム医療の推進を図った。インシデント・アクシデント発生時の対応など医療安全対策室専従看護師が中心となり、各部門との情報収集・意見交換、連絡・調整・相談などを実施した。</p> <p>医療安全管理委員会 : 12 回開催 医療安全対策室会議 : 47 回開催 看護事故防止委員会 : 12 回開催 褥瘡対策委員会 : 11 回開催 ほか</p>	職種	25 年度	26 年度	27 年度	薬剤師	6 名	5 名	8 名	検査技師	9 名	11 名	12 名	臨床工学技士	12 名	12 名	7 名	放射線技師	2 名	14 名	15 名	リハビリ技師	12 名	22 名	24 名	管理栄養士	1 名	3 名	4 名	計	42 名	67 名	70 名	区分	25 年度	26 年度	27 年度	(産婦人科) 種類数	22	20	23	使用数	258	298	265	適用率	98.8	99.0	100.0	(内科) 種類数	3	3	3	使用数	55	71	53	適用率	100.0	100.0	100.0	(小児科) 種類数	—	12	17	使用数	—	133	227	適用率	—	100.0	100.0
	診療科名 \ 年度	H26	H27																																																																																																																																
産婦人科	28	28																																																																																																																																	
整形外科	36	36																																																																																																																																	
呼吸器科	3	3																																																																																																																																	
外科・消化器外科	26	26																																																																																																																																	
循環器科	12	13																																																																																																																																	
その他	93	102																																																																																																																																	
合計	198	208																																																																																																																																	
区分 \ 年度	H26	H27																																																																																																																																	
種類数 (単位:種)	141	124																																																																																																																																	
使用数 (単位:件)	6,522	6,344																																																																																																																																	
区分 \ 年度	H26	H27																																																																																																																																	
インシデント	3,661	3,765																																																																																																																																	
アクシデント	20	30																																																																																																																																	
合計	3,681	3,795																																																																																																																																	
テーマ (開催日)	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)																																																																																																																															
新しい医療事故調査制度について(9/15)	531	405	—	91.0																																																																																																																															
職種	25 年度	26 年度	27 年度																																																																																																																																
薬剤師	6 名	5 名	8 名																																																																																																																																
検査技師	9 名	11 名	12 名																																																																																																																																
臨床工学技士	12 名	12 名	7 名																																																																																																																																
放射線技師	2 名	14 名	15 名																																																																																																																																
リハビリ技師	12 名	22 名	24 名																																																																																																																																
管理栄養士	1 名	3 名	4 名																																																																																																																																
計	42 名	67 名	70 名																																																																																																																																
区分	25 年度	26 年度	27 年度																																																																																																																																
(産婦人科) 種類数	22	20	23																																																																																																																																
使用数	258	298	265																																																																																																																																
適用率	98.8	99.0	100.0																																																																																																																																
(内科) 種類数	3	3	3																																																																																																																																
使用数	55	71	53																																																																																																																																
適用率	100.0	100.0	100.0																																																																																																																																
(小児科) 種類数	—	12	17																																																																																																																																
使用数	—	133	227																																																																																																																																
適用率	—	100.0	100.0																																																																																																																																

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院					岐阜県立下呂温泉病院																																																																																			
H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																		
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 			<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 					<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> その他各種学会、研修会等への参加 【中央リハビリテーション部】 ・がんのリハビリテーション研修 ・3学会合同呼吸療法認定士 ・心臓リハビリテーション指導士 ・AHA BLS ICLSプロバイダ ・日本糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 ・認定作業療法士 ・認定ハンドセラピスト ・その他各種学会、研修会等への参加 【栄養センター】 ・日本糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・病態栄養認定管理栄養士 ・その他各種学会、研修会等への参加 【臨床工学部】 ・医療機器安全管理責任者研修会 ・透析液安全管理責任者セミナー ・3学会合同呼吸療法認定士 ・体外循環技術認定士 ・透析技術認定士 ・その他各種学会、研修会等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ※H27 年度資格取得者 ・糖尿病療養指導士 1 人 【中央リハビリテーション部】 ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 ・日本高次脳障害学会夏期教育研修 ・岐阜呼吸管理研究会 ・摂食・嚥下障害セミナー ※H27 年度資格取得者 ・呼吸療法認定士 4 人 【栄養センター】 ・日本臨床栄養学会 ・自治体病院栄養部会研修会 ・日本心臓リハビリ学会東海支部地方会 ・日本病院会栄養管理セミナー ・日本静脈経腸栄養学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会 ※H27 年度資格取得者 ・日本糖尿病療養指導士 1 人 【臨床工学部】 ・日本臨床工学技士会 ・岐阜県臨床工学技士会セミナー ・岐阜県臨床工学技士会学術大会 ・医療機器安全基礎講習会 (ME 技術講習会) ・透析液安全管理責任者セミナー ・日本人工臓器学会教育セミナー ※H27 年度資格取得者 ・ホスピタルエンジニア 1 人 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 	<p>においてインシデント、アクシデントレポートの集積および分析を行い、分析結果や検討内容を院内周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種での院内安全ラウンドを通じて、組織横断的な医療安全活動を行う。 ・医療安全研修会や勉強会、医療安全推進週間を通じて、医療安全に対する職員の意識を高める。 ・医療安全マニュアルの見直しを行う。 <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応 (早期察知、早期介入、調査、分析、指導) を実践する。 ・職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう ICT (感染防止対策チーム) の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。 ・感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年 2 回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 	<table border="1"> <tr> <td>救命・救急最前線インシデントを防ぐ (2/25)</td> <td>469</td> <td>—</td> <td>332</td> <td>80.8</td> </tr> </table> <p>※DVD 視聴・研修会：参加率 100% を目指すため実施</p> <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染体制の充実を図るため感染管理認定看護師教育課程の受講支援をした。また、感染対策委員会活動を中心に、院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立に努め、院内ラウンドや情報提供を行った。 <p>【感染対策教育講演会開催実績】</p> <p style="text-align: right;">単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 視聴</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) 感染症と院内感染対策 (8/6)</td> <td>514</td> <td>267</td> <td>—</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>廃棄物の分別について (3/3)</td> <td>468</td> <td>—</td> <td>428</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※DVD 視聴・研修会：参加率 100% を目指すため実施</p>	救命・救急最前線インシデントを防ぐ (2/25)	469	—	332	80.8	テーマ (開催日)	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) 感染症と院内感染対策 (8/6)	514	267	—	75.0	廃棄物の分別について (3/3)	468	—	428	85.0	<p>8 メディカカードの導入などの IT の活用</p> <p>電子カルテシステムの充実を図めるほか、メディカカード、IC カード (Integrated Circuit Card) 型診察券の導入について、検討を行う。</p> <p>9 医療安全対策の充実</p> <p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方針の共有化</p> <p>・リスクマネジメントシステム SafeProducer を利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめとインシデントレベル 2 及び 3 (事故報告書) について各会議にて分析・検討し対策立案を行った。またインシデント報告事例で情報共有が必要なものに関して分析をおこなった。</p> <p>【インシデント・アクシデント件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>936 件</td> <td>975 件</td> <td>1233 件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>13 件</td> <td>9 件</td> <td>8 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>949 件</td> <td>984 件</td> <td>1241 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療安全管理に関する研修体制の充実】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">研修名</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> </tr> <tr> <th>実施数</th> <th>参加数</th> <th>実施数</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全全職員研修会</td> <td>2 回</td> <td>626 名</td> <td>2 回</td> <td>626 名</td> </tr> <tr> <td>医療機器学習会</td> <td>5 回</td> <td>63 名</td> <td>2 回</td> <td>10 名</td> </tr> <tr> <td>薬剤学習会</td> <td>3 回</td> <td>43 名</td> <td>2 回</td> <td>12 名</td> </tr> <tr> <td>検査学習会</td> <td>1 回</td> <td>5 名</td> <td>1 回</td> <td>6 名</td> </tr> <tr> <td>臨時研修会</td> <td>2 回</td> <td>61 名</td> <td>3 回</td> <td>17 名</td> </tr> <tr> <td>新人研修</td> <td>8 回</td> <td>57 名</td> <td>8 回</td> <td>76 名</td> </tr> <tr> <td>看護補助者対象研修会</td> <td>2 回</td> <td>30 名</td> <td>2 回</td> <td>30 名</td> </tr> <tr> <td>BLS 研修会</td> <td>5 回</td> <td>42 名</td> <td>2 回</td> <td>38 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>○院内感染防止マニュアルの整備・周知</p> <p>マニュアルを見直し改定。紙媒体のファイルを配備し、さらに電子版をグループウェアに格納した。</p> <p>【改定内容】</p> <p>使用後器具の処理、廃棄物区分と処理手順、標準予防策と感染経路別予防策、MRSA 感染対策、結核感染対策、疥癬感染対策マニュアル、腸管感染症対策マニュアル、感染症法に基づく医師の届出</p> <p>○感染管理教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入転入職員研修 4 回 (H26 実績：4 回) ・全体研修会 延 546 名 (H26 実績:369 名) <ul style="list-style-type: none"> ① ウトブレイク事例からの学び (331 名) ② サージカルマスクの使い方 (163 名) ③ ノロウイルス・インフルエンザ (52 名) ・Eラーニング：看護部ラダー研修 ・グループウェアを利用した情報発信 (NEWS レター、感染症流行情報等) ・感染防止対策テスト実施 (針刺し、マイコバ 	区分	25 年度	26 年度	27 年度	インシデント	936 件	975 件	1233 件	アクシデント	13 件	9 件	8 件	計	949 件	984 件	1241 件	研修名	H26		H27		実施数	参加数	実施数	参加数	医療安全全職員研修会	2 回	626 名	2 回	626 名	医療機器学習会	5 回	63 名	2 回	10 名	薬剤学習会	3 回	43 名	2 回	12 名	検査学習会	1 回	5 名	1 回	6 名	臨時研修会	2 回	61 名	3 回	17 名	新人研修	8 回	57 名	8 回	76 名	看護補助者対象研修会	2 回	30 名	2 回	30 名	BLS 研修会	5 回	42 名	2 回	38 名	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価
救命・救急最前線インシデントを防ぐ (2/25)	469	—	332	80.8																																																																																							
テーマ (開催日)	参加数	DVD 視聴	DVD 研修会	参加率 (%)																																																																																							
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) 感染症と院内感染対策 (8/6)	514	267	—	75.0																																																																																							
廃棄物の分別について (3/3)	468	—	428	85.0																																																																																							
区分	25 年度	26 年度	27 年度																																																																																								
インシデント	936 件	975 件	1233 件																																																																																								
アクシデント	13 件	9 件	8 件																																																																																								
計	949 件	984 件	1241 件																																																																																								
研修名	H26		H27																																																																																								
	実施数	参加数	実施数	参加数																																																																																							
医療安全全職員研修会	2 回	626 名	2 回	626 名																																																																																							
医療機器学習会	5 回	63 名	2 回	10 名																																																																																							
薬剤学習会	3 回	43 名	2 回	12 名																																																																																							
検査学習会	1 回	5 名	1 回	6 名																																																																																							
臨時研修会	2 回	61 名	3 回	17 名																																																																																							
新人研修	8 回	57 名	8 回	76 名																																																																																							
看護補助者対象研修会	2 回	30 名	2 回	30 名																																																																																							
BLS 研修会	5 回	42 名	2 回	38 名																																																																																							
<p>6 EBM の推進</p> <p>ダ・ヴィンチによるロボット支援手術やハイブリッド手術などの先進的医療を推進する。</p> <p>各診療科において各種疾患診療ガイドラインに基づく標準診療を確実に実践していくために、現在使用されているクリニカルパスの使用率を向上させ、退院時に評価・完了し、改善に繋げる工程を強化する。</p> <p>また、クリニカルパス大会や研修会を開催して、新規クリニカルパスの登録を推進し、より多くの疾患について EBM に基づく標準治療が実践できる環境を整える。</p> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <p>医師・看護師・薬剤師他コメディカル等の専門的知識を有した医療従事者が、1 人の患者に対してより質の高い医療を提供するために協働及び連携し、情報の共有化を行う。</p> <p>また、チーム医療を進める上で、医療従事者は専門性の高い知識や技術を習得し、ガイドラインやプロトコル等を活用した治療の標準化の浸透を図る。</p> <p>8 メディカカードの導入などの IT の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓疾患の患者向けにメディカカー 	<p>○専門研修への参加状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>207</td> <td>198</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>100</td> <td>117</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>22</td> <td>40</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>69</td> <td>59</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>30</td> <td>85</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>438</td> <td>510</td> <td>547</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 EBM の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの新規作成を推進した。 H26:12 件 → H27:17 件 ・医療の質の向上を目指したクリニカルパスの作成方法の習得を推進し、チーム医療の意識浸透を図ることを目的とする研修会を 3 回実施、299 人 (多職種) の参加を得た。 <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。 <主な医療チーム> ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、口腔ケアチーム、NST チーム <p>8 メディカカードの導入などの IT の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓疾患の患者 9 名にメディカカードを発行するとともに、更なる普及を目指し、県立 3 病院の間で診察券のメディカカード化 	項目／年度	H25	H26	H27	薬剤師	207	198	214	臨床検査技師	100	117	146	臨床工学技士	22	40	23	リハビリ技師	69	59	58	管理栄養士	10	11	12	放射線技師	30	85	94	合計	438	510	547	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 																																																									
項目／年度	H25	H26	H27																																																																																								
薬剤師	207	198	214																																																																																								
臨床検査技師	100	117	146																																																																																								
臨床工学技士	22	40	23																																																																																								
リハビリ技師	69	59	58																																																																																								
管理栄養士	10	11	12																																																																																								
放射線技師	30	85	94																																																																																								
合計	438	510	547																																																																																								

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																										
H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																									
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価																																								
<p>ド 20 枚を発行し、救急医療現場での活用を図る。</p> <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な医療が提供できるよう医療安全管理マニュアルの遵守、状況の確認、評価を行う。重大事故発生時には、速やかに事故調査を実施し発生要因を明らかにするとともに、医療事故の再発防止とリスクを回避するための方策を検討し共有化する。安全管理に関する研修会の内容を充実させ、参加人数を増やすことや医療安全に関するポスター展示を行い、さらなる安全意識の向上を図る。 また、病棟会議、部署別会議、リスクマネージャー会議等で医療安全をテーマにした具体的な討論を進める。 <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染制御チーム (ICT) が中心となり、定期的に各部署・部門の観察、指導 (院内巡視) を行い、院内感染対策マニュアルの遵守状況について確認及び評価を行う。また、感染防止マニュアルは感染症法改正、厚生労働省課長通知に併せて適時改訂し、院内へ周知を図る。 その他、感染防止委員会及び感染症対策部、ICT が中心となり、全職員を対象とした研修会を毎月開催し、職員の年 2 回以上の参加を目指す。さらに、感染症内科医を中心に細菌検査ミーティングを開催し、適切な抗菌薬使用を推進するとともに、耐性菌発生時の早期感染症対策を実施する。 平成 26 年度に導入した「感染制御支援システム」を駆使して、感染状況、臨床経過、治療状況などを多面的かつ迅速に把握し、効果的な感染制御を目指す。 	<p>についての検討を開始した。</p> <p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデント事案については収集・分析を行い、医療安全管理委員会で検討したうえで、病棟会議等で報告を行うとともに、医療安全便りを通じて全職員に周知を図った。また、重大事例につながるものについては、関連部署と分析を行い、再発防止策の検討を行った。 <p>○インシデント・アクシデント報告数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル 0</td> <td>292</td> <td>326</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>レベル 1</td> <td>1,729</td> <td>1,873</td> <td>1,865</td> </tr> <tr> <td>レベル 2</td> <td>467</td> <td>445</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>レベル 3 a</td> <td>327</td> <td>346</td> <td>348</td> </tr> <tr> <td>小計 (インシデント)</td> <td>2,815</td> <td>2,990</td> <td>2,987</td> </tr> <tr> <td>レベル 3 b</td> <td>62</td> <td>54</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>レベル 4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>レベル 5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小計 (アクシデント)</td> <td>62</td> <td>54</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,877</td> <td>3,044</td> <td>3,047</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 院内感染防止対策の確立 ＜新生児センター＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、監視培養を継続的に実施している。 MRSA の新規検出については、平成 26 年度 23 名から平成 27 年度 14 名と約 39% 減少した。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 週 1 回、ICT による病棟ラウンドを実施するとともに、改善結果については、感染防止委員会で報告を行った。 感染制御支援システムを活用し、接触患者リストの作成、菌検出推移の把握を行うとともに、カテーテルなどのデバイス数をカウントし、各部署における感染率の経過を把握した。 感染症専門医による抗菌薬の適正指導や、手指消毒剤使用の増により新規 MRSA 検出数が 15% 減少した。 感染防止研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。 H26:16 回 2,592 人→H27:29 回 3,011 人 	項目／年度	H25	H26	H27	レベル 0	292	326	319	レベル 1	1,729	1,873	1,865	レベル 2	467	445	455	レベル 3 a	327	346	348	小計 (インシデント)	2,815	2,990	2,987	レベル 3 b	62	54	59	レベル 4	0	0	1	レベル 5	0	0	0	小計 (アクシデント)	62	54	60	合計	2,877	3,044	3,047		<p>ラズマ、インフルエンザ、ノロウイルス)</p> <p>○ラウンドによる感染対策実施状況のチェック</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染性廃棄物の管理状況、分別状況 感染経路別予防策実施状況 手指衛生の実施状況 防護具の実施状況 感染対策地域連携加算についての相互チェック (高山赤十字病院より受審) <p>○院内感染発生に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> 全室個室化のメリットにより、外部機関に報告を要する院内感染事案はなかった。 院内感染事例発生時は、4M4E 分析 (具体的要因 4 点と要因の対策 4 点の視点で考える分析手法) によって事例を振り返り改善策をあげ、再発防止に取り組んだ。 	
項目／年度	H25	H26	H27																																													
レベル 0	292	326	319																																													
レベル 1	1,729	1,873	1,865																																													
レベル 2	467	445	455																																													
レベル 3 a	327	346	348																																													
小計 (インシデント)	2,815	2,990	2,987																																													
レベル 3 b	62	54	59																																													
レベル 4	0	0	1																																													
レベル 5	0	0	0																																													
小計 (アクシデント)	62	54	60																																													
合計	2,877	3,044	3,047																																													
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果																																											

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

1-1-2 患者・住民サービスの向上

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																											
H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																																										
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																																																																																										
<p>項目番号 02</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 待ち時間の実態調査（患者満足度調査「年1回」及びシステムによる調査「年4回」）を実施し、患者からの意見・要望に対して、各部署において改善計画を立案し、積極的に取り組むことで平均待ち時間を短縮できるよう検討を行う。 診察の待ち時間の短縮を図るため、各診療科の診察枠の見直しや診療単価等の分析による患者構成を把握することで病状等に即した医療機能の分化を推進する。 他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。 検査の効率的な実施や検査機器稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。 中央採血室における採血待ちや心電図、超音波の待ち時間短縮に努める。 臨床検査科での各種検査の精度管理を推し進め、業務や機器運用の見直しにより結果報告までの時間短縮を図る。 継続して地域医療機関との外来予約受付体制の改善を行い、外来予約システムの構築を検討する。 継続して手術枠の効率的な運用を検討し実施することで、手術件数を増大させ手術待ち時間の改善につなげる。 	<p>IV</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ＜外来部門＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって、院内滞在時間の短縮を図った。 検査が必要な患者に対しては検査を先に実施 看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施 入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化 病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30 分以内の診察を徹底 <p>・待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。</p> <p>・待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施</p> <p>・診療科に即したパンフレットや図書を配置</p> <p>・患者満足度調査等による待ち時間の把握 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、外来患者数の増加に伴い平均待ち時間が微増したものの、30分以内の待ち時間患者が増加、全体として待ち時間の短縮が進んだ。</p> <p>○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>24</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月/待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.1</td> <td>35.6</td> <td>56.4</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>H27.1</td> <td>35.0</td> <td>56.4</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>H28.1</td> <td>41.2</td> <td>49.2</td> <td>9.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜臨床検査部門＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波検査（生理検査部門）技師を増員することで、待ち時間の短縮を図った。 H26：7.5人 → H27：8.0人 診療科からの要望に対応し、超音波検査予約枠の増設、変更を継続して行なった。 超音波検査件数については増加したものの、全体として待ち時間の短縮が認められた。 待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取り組みを継続した。 	H25	H26	H27	25	24	28	年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	H26.1	35.6	56.4	8.0	H27.1	35.0	56.4	8.6	H28.1	41.2	49.2	9.6	<p>項目番号 02</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者待ち時間調査を実施し、現状分析による改善策を立案する。 連携予約検査枠の拡大を行うとともに、放射線部職員も開業医の訪問活動に同行させ、より効果的な広報を行い、高度医療機器利用率の向上を図る。 開業医への訪問活動範囲を広げ、具体的なニーズを把握し患者へのサービス増進に取り組む。 当院と開業医との連携体制、役割分担等を患者へ分かりやすく広報する。 よろず相談・かかりつけ医紹介センターを積極的に活用しながら逆紹介を推進する。 待ち時間改善として、中央採血室の開始時間を早めることを検討する。 手術待ちの改善へ向けて、手術室の運用時間などについて検討する。 <p>2 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内の施設や設備について、新中央診療棟の建設を見据えた維持管理に努めるとともに、意見箱などに寄せられた改善要望に対しては、その内容を精査した上で対応する。 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、継続して献立・食材の見直しを行う。 化学療法の副作用等により喫食量の低下した患者への個別の聞き取りを実施し喫食量増加や、栄養相談を含めた栄養管理を継続的に行っていく。 栄養不良が疑われる患者に対し、NST介入により早期改善を目指す。 <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療情報に関する相談について、相談しやすい体制の充実を図るため、地域医療連携センター内の医療連携担当と医療相談担当が、定期的に情報交換会を開催し、相互の情報共有と問題点の洗い出しを行う。 患者やその家族からの医療に関する様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターを活用して、迅速に対応する。 岐阜県ソーシャルワーカー協会 東濃支部研修会（情報交換会） 	<p>III</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度から早めた中央採血室の運用開始時間について、待ち時間調査などで検証したところ、待ち時間の短縮が図れていた。 開業医との連携検査予約の予約枠を拡大したことで高度医療機器利用件数が増加し、住民サービス向上となった。 <p>【平均待ち時間】 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>※待ち時間は病院全体の時間</p> <p>【CT、MRI 検査件数】 単位：件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT 件数</td> <td>28,159</td> <td>29,355</td> </tr> <tr> <td>MRI 件数</td> <td>9,392</td> <td>9,862</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 治療効果を高めるため、食事制限などのある患者の食事相談や指導をした。また、喫食量の低下した患者へ、NSTの早期介入、栄養に対する知識を高める教育、献立や分量見直しを行った。 <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td> <td>3,938</td> <td>4,552</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>1,636</td> <td>2,017</td> </tr> <tr> <td>NST 介入</td> <td>396</td> <td>433</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者やその家族からの医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する医療相談の他に、受診診療科や病気などの様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターなどを活用した丁寧な相談体制で対応ができた。 <p>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>256</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td>よろず相談 (※)</td> <td>327</td> <td>1,480</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26:平成 27 年 1 月から 3 月まで</p> <p>【医療相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>10,648</td> <td>12,303</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数</td> <td>127</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	23	22	区分\年度	H26	H27	CT 件数	28,159	29,355	MRI 件数	9,392	9,862	項目\年度	H26	H27	栄養指導	3,938	4,552	栄養管理	1,636	2,017	NST 介入	396	433	項目\年度	H26	H27	かかりつけ医への紹介	256	251	よろず相談 (※)	327	1,480	項目\年度	H26	H27	医療相談件数	10,648	12,303	がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	127	99	<p>項目番号 02</p> <p>1 待ち時間の改善等</p> <p>○待ち時間対策 外来患者満足度調査の中で、待ち時間に関する意見が多くみられるため、待ち時間対策として下記事項に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 診察の遅れについては、できるだけ正確に診察の進行状況に係る情報を提供 看護師による待合室の巡視（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める）と患者への積極的な声掛けの推進 小児科外来における図書コーナーでの、持ち帰り可能な雑誌等の設置 <p>○外来診療待ち時間調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間・初診患者</th> <th colspan="2">25 年度</th> <th colspan="2">26 年度</th> <th colspan="2">27 年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>48</td> <td>77</td> <td>67</td> <td>81</td> <td>65</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>1～30 分</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>31～60 分</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>61 分以上</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>待ち時間・再診患者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間・再診患者</th> <th colspan="2">25 年度</th> <th colspan="2">26 年度</th> <th colspan="2">27 年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>166</td> <td>72</td> <td>228</td> <td>81</td> <td>176</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>1～30 分</td> <td>56</td> <td>24</td> <td>47</td> <td>17</td> <td>46</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>31～60 分</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>61 分以上</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <p>○患者サービス向上委員会では、ご意見箱からの意見などを院内の掲示板でフィードバックしているほか、院内環境改善についての要望などを検討し、改善に努めた。</p> <p>○病院内の清掃だけでなく、病院周辺の清掃も患者サービス向上委員会が主体となって病院周辺の清掃を9月17日に行う計画を立てたが、2度の雨天により中止となった。</p> <p>○個別の栄養管理のため、医師の指示により「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について患者を訪問し、栄養管理指導を行った。患者に食事内容をより理解していただくと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養管理計画書作成件数</td> <td>1,867 件</td> <td>1,706 件</td> <td>1,360 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※医師指示分のみを実施</p> <p>○平成 27 年 10 月 31 日に開催した「病院まつり」</p>	待ち時間・初診患者	25 年度		26 年度		27 年度		人数	%	人数	%	人数	%	なし	48	77	67	81	65	87	1～30 分	10	16	12	14	9	12	31～60 分	1	2	4	5	1	1	61 分以上	3	5	0	0	0	0	待ち時間・再診患者	25 年度		26 年度		27 年度		人数	%	人数	%	人数	%	なし	166	72	228	81	176	76	1～30 分	56	24	47	17	46	20	31～60 分	7	3	7	2	9	4	61 分以上	3	1	0	0	1	0		25 年度	26 年度	27 年度	栄養管理計画書作成件数	1,867 件	1,706 件	1,360 件
H25	H26	H27																																																																																																																																																													
25	24	28																																																																																																																																																													
年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																																																																																																																																																												
H26.1	35.6	56.4	8.0																																																																																																																																																												
H27.1	35.0	56.4	8.6																																																																																																																																																												
H28.1	41.2	49.2	9.6																																																																																																																																																												
H26	H27																																																																																																																																																														
23	22																																																																																																																																																														
区分\年度	H26	H27																																																																																																																																																													
CT 件数	28,159	29,355																																																																																																																																																													
MRI 件数	9,392	9,862																																																																																																																																																													
項目\年度	H26	H27																																																																																																																																																													
栄養指導	3,938	4,552																																																																																																																																																													
栄養管理	1,636	2,017																																																																																																																																																													
NST 介入	396	433																																																																																																																																																													
項目\年度	H26	H27																																																																																																																																																													
かかりつけ医への紹介	256	251																																																																																																																																																													
よろず相談 (※)	327	1,480																																																																																																																																																													
項目\年度	H26	H27																																																																																																																																																													
医療相談件数	10,648	12,303																																																																																																																																																													
がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	127	99																																																																																																																																																													
待ち時間・初診患者	25 年度		26 年度		27 年度																																																																																																																																																										
	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																																																																																									
なし	48	77	67	81	65	87																																																																																																																																																									
1～30 分	10	16	12	14	9	12																																																																																																																																																									
31～60 分	1	2	4	5	1	1																																																																																																																																																									
61 分以上	3	5	0	0	0	0																																																																																																																																																									
待ち時間・再診患者	25 年度		26 年度		27 年度																																																																																																																																																										
	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																																																																																									
なし	166	72	228	81	176	76																																																																																																																																																									
1～30 分	56	24	47	17	46	20																																																																																																																																																									
31～60 分	7	3	7	2	9	4																																																																																																																																																									
61 分以上	3	1	0	0	1	0																																																																																																																																																									
	25 年度	26 年度	27 年度																																																																																																																																																												
栄養管理計画書作成件数	1,867 件	1,706 件	1,360 件																																																																																																																																																												

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																	
H27 年度計画		H27 年度計画		H27 年度計画																																																																																	
年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																	
<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																	
<p>2 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者や来院者により快適な環境を提供するため、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。 患者ニーズを踏まえ、院内売店の飲食物・アメニティーグッズ等の種類・量を充実させる。 治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者の嗜好にも配慮したメニューを拡充するため、患者嗜好調査を実施し、病院給食の改善を図る。 病棟等に設置した「提案箱」に投函された患者からの意見に対して適切な対応を行い、改善・解決に努めるとともに、対応内容等について院内に掲示し、患者へのフィードバックを行う。 地域住民等による院内ボランティアや院内コンサート等により、患者等が安心して快適に利用できる院内環境を提供する。 <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>情報の取り扱いに対する研修会、講演会を開催し、診療情報やその他個人情報の取り扱いに対する教育を行う。これにより、カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を向上させ、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する。</p> <p>総合相談センター窓口において、診療内容、在宅支援、苦情、就労支援などあらゆる相談に迅速に対応できるように関係部署と連携し、相談機能を充実させる。</p> <p>また、毎週、カンファレンスを開催し、問題事項について協議する。特に、がん相談支援センター機能を充実させ、がん患者及びその家族の在宅医療支援を行い、がん相談件数の増加を図る。</p>		<p>を継続していくとともに、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア病棟や精神科病棟を担当する相談員に対して、各種研修会の受講を推進し、知識と技能の強化を図りながら、より良いケアの提供を目指すとともに、転退院調整や各種相談業務への対応を強化する。 がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行う。 <p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サポート体制カンファレンスを継続して実施し、患者からの要望等を把握・分析し、患者の権利の保証に努める。 患者図書室について、蔵書の増冊、近隣の図書館との連携推進等により充実を図る。 <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ内に新設した I C (インフォームドコンセント) シートを活用し、インフォームドコンセントの確実な実施と記録を院内職員へ周知徹底していく。 インフォームドコンセントにおける同意書の内容について検討を進める。 セカンドオピニオンについて、院内や病院のホームページに掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応する。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。 <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <p>地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、地域住民のニーズを把握する。</p>		<p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>63</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>63</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サポート体制カンファレンスを毎週 1 回開催し、医療相談、クレーム事例などから患者の意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせ、患者の権利の保障について検討した。また、インシデント事例から、今後フォローが必要になりそうな患者について情報共有を行った。 <p>【患者図書室利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 (単位：人)</td> <td>10,736</td> <td>10,552</td> </tr> <tr> <td>稼働日数 (単位：日)</td> <td>244</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>1 日平均 (単位：日)</td> <td>44.0</td> <td>43.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ内の I C (インフォームドコンセント) シートの活用徹底と、I C における同意書の内容の検討・見直しを行った。また、セカンドオピニオン希望の患者に対し、医療連携室のスタッフが最初から対応し、より迅速な予約体制を構築した。 <p>【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>8</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>55</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃県事務所の振興防災課も出席していただき、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催して、防災についての意見交換をした。 患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q I プロジェクト」での患者満足度調査では、全国 Q I プロジェクト参加病院の中では高い満足度を得ることができた。 <p>【満足度調査の比較】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">満足度</th> </tr> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td> <td>当院</td> <td>99.6</td> <td>95.6</td> </tr> <tr> <td>QI プロジェクト参加病院 (平均値)</td> <td>87.7</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>当院</td> <td>95.8</td> <td>87.2</td> </tr> <tr> <td>QI プロジェクト参加病院 (平均値)</td> <td>80.9</td> <td>81.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ QI プロジェクトデータを全て引用 H27 から集計方法の変更</p>		項目\年度	H26	H27	請求件数	63	64	開示件数	63	62	区分\年度	H26	H27	利用者数 (単位：人)	10,736	10,552	稼働日数 (単位：日)	244	242	1 日平均 (単位：日)	44.0	43.6	区分\年度	H26	H27	外来受入	8	20	他院紹介	55	70			満足度		H26	H27	入院	当院	99.6	95.6	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	87.7	89.3	外来	当院	95.8	87.2	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	80.9	81.7	<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>苦情等へ迅速な対応ができる相談受付窓口の更なる活用を図るとともに、接遇研修会等を通じて職員の接遇意識の向上に努める。</p> <p>また、検査や薬の相談窓口を開設 (医師説明の補助) するほか、放射線被ばくの専門知識を有した被ばく相談員を配置する。</p> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <p>地域で信頼される開かれた医療機関となることを目指し、患者の権利 (安全・平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できる等) の保証と職員への周知、医療従事者としての倫理観の確立に努める。</p> <p>また、ピンクリボンキャンペーンの趣旨に賛同し、働く女性に対する休日の検診体制の充実を図る。</p> <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <p>患者自らが選択し納得できる医療を提供するため、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンを推進する。</p> <p>では、コンサートや健康相談、栄養・感染防止・摂食嚥下・床ずれ防止・スキンケア・ベビーピクス等の相談・指導を行った。(来場者数 300 名＋職員ボランティア 110 名)</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>○医療相談室には、社会福祉士 2 名、看護師 3 名の計 5 名の職員が常駐しており、患者・家族からの医療情報に関する相談・苦情について対応した。問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。</p> <p>【相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療福祉相談</td> <td>2,038 件</td> <td>1,649 件</td> <td>2,654 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○接遇マナー 5 原則 (1 表情、2 態度、3 挨拶、4 身だしなみ、5 言葉遣い) をもとに、強化月間を設けポスターの掲示や呼びかけを行った後アンケートを行い達成度の評価をした。(看護部 2 回/年、全体 1 回/年) 接遇マナーチェックシートを、H27.10 月に、委託職員を含む 443 名に配布 98% の回収率であった。</p> <p>【マナーチェック結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>「概ねできている」以上の回答割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>態度・表情等</td> <td>93.9 %</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>92.2 %</td> </tr> <tr> <td>電話対応</td> <td>84.7 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※設問毎の平均割合</p> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <p>○カルテ等の医療情報開示は、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じて対応した。</p> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>4 件</td> <td>5 件</td> <td>10 件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>4 件</td> <td>5 件</td> <td>10 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ピンクリボンキャンペーン (乳がん検診の早期受診推進運動) への賛同 マンモグラフィー (乳房 X 線診断装置) 乳がん無料検診を実施 (H27/10/18(日))。平成 23 年度から経費の一部は寄付金を活用しており、検査料は無料 (定員 30 名) とし、27 年度は 29 名が受診した。</p> <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <p>患者・その家族には、インフォームドコンセントの徹底を図り、規程に基づく同意を得たうえで治療に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院時の入院治療計画の提示 手術や検査の事前説明 <p>【セカンドオピニオン実施件数】</p>		項目	25 年度	26 年度	27 年度	医療福祉相談	2,038 件	1,649 件	2,654 件	項目	「概ねできている」以上の回答割合	態度・表情等	93.9 %	身だしなみ	92.2 %	電話対応	84.7 %	項目	25 年度	26 年度	27 年度	請求件数	4 件	5 件	10 件	開示件数	4 件	5 件	10 件
項目\年度	H26	H27																																																																																			
請求件数	63	64																																																																																			
開示件数	63	62																																																																																			
区分\年度	H26	H27																																																																																			
利用者数 (単位：人)	10,736	10,552																																																																																			
稼働日数 (単位：日)	244	242																																																																																			
1 日平均 (単位：日)	44.0	43.6																																																																																			
区分\年度	H26	H27																																																																																			
外来受入	8	20																																																																																			
他院紹介	55	70																																																																																			
		満足度																																																																																			
		H26	H27																																																																																		
入院	当院	99.6	95.6																																																																																		
	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	87.7	89.3																																																																																		
外来	当院	95.8	87.2																																																																																		
	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	80.9	81.7																																																																																		
項目	25 年度	26 年度	27 年度																																																																																		
医療福祉相談	2,038 件	1,649 件	2,654 件																																																																																		
項目	「概ねできている」以上の回答割合																																																																																				
態度・表情等	93.9 %																																																																																				
身だしなみ	92.2 %																																																																																				
電話対応	84.7 %																																																																																				
項目	25 年度	26 年度	27 年度																																																																																		
請求件数	4 件	5 件	10 件																																																																																		
開示件数	4 件	5 件	10 件																																																																																		

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																									
H27年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H27年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H27年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																							
		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																							
<p>4 患者中心の医療の提供</p> <p>当センターが掲げる「患者さんの権利と責務」(「平等に安全で良質な医療を受ける権利」、「十分な説明と助言のもとに患者自身の医療を決定する権利」、「セカンドオピニオンを受ける権利」、「個人のプライバシーが守られる権利」、「医療従事者と協力して医療に参加する責務」)を推進し、県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療を提供する。また、これらの考えを院内・WEBページに掲載し情報発信を行う。</p> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <p>治療にあたって必要な情報を患者が理解できる言葉で提供、説明し、十分な助言のもとに自分自身の医療を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底させる。治療や検査を受けるにあたり、より良い判断をするために、他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備し、相談件数の増加を図る。</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <p>運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する満足度調査を実施し、運営・管理に反映させるものとする。</p>		<table border="1"> <tr><th>項目/年度</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th></tr> <tr><td>請求件数</td><td>89</td><td>123</td><td>133</td></tr> <tr><td>開示件数</td><td>89</td><td>116</td><td>126</td></tr> </table>		項目/年度	H25	H26	H27	請求件数	89	123	133	開示件数	89	116	126	<p>○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位：件</p> <table border="1"> <tr><td>病院の環境</td><td>5</td></tr> <tr><td>患者等からの相談</td><td>32</td></tr> <tr><td>事例</td><td>7</td></tr> <tr><td>患者等からの苦情</td><td>40</td></tr> <tr><td>その他</td><td>22</td></tr> </table> <p>○医療通訳ボランティア派遣件数 単位：件</p> <table border="1"> <tr><th>項目/年度</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th></tr> <tr><td>ポルトガル語</td><td>62</td><td>148</td><td>258</td></tr> <tr><td>中国語</td><td>27</td><td>41</td><td>23</td></tr> <tr><td>タガログ語</td><td>32</td><td>34</td><td>50</td></tr> <tr><td>合計</td><td>121</td><td>223</td><td>331</td></tr> </table>		病院の環境	5	患者等からの相談	32	事例	7	患者等からの苦情	40	その他	22	項目/年度	H25	H26	H27	ポルトガル語	62	148	258	中国語	27	41	23	タガログ語	32	34	50	合計	121	223	331	<p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者や家族からの請求により126件の個人情報開示した。 医療安全に関する研修を4回実施し、809人の参加を得た。また、研修対象者を正職員だけでなく非常勤職員にも拡大した。 <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備し、相談件数の増加を図った。 <p>○セカンドオピニオン実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <tr><th>項目/年度</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th></tr> <tr><td>外来受入</td><td>22</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>他院紹介</td><td>44</td><td>46</td><td>59</td></tr> </table>		項目/年度	H25	H26	H27	外来受入	22	22	23	他院紹介	44	46	59	<p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県総合医療センター運営協議会を2回開催し、地域の代表者等と意見交流を行い、その結果を病院運営に反映した。 		<p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <p>患者や周辺住民を対象とした病院満足度調査を実施するとともに、地域の代表者等との意見交流を行うなどその結果を病院運営に反映させる。</p> <p>○患者満足度調査 退院時アンケート調査を1回実施(11月：1ヶ月間) 対象患者：退院188名、回答者128名(回収率68%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の態度・治療に対する説明など計5項目「良い」以上の評価割合 職員の態度：91.4% 身だしなみ：96.9% 傾聴：94.5% プライバシー配慮：88.3% 説明：89.1% <p>○地域住民との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェック・健康相談を行い地域の人々との交流に努めた。 27年度 2回実施(利用者234名) 下呂温泉祭り行事協力 「龍神火祭り」8/1-3 「花火」「いで湯卓球大会」等救護班8名 「龍神火祭り」では病院職員が御輿の担ぎ手としても参加し、地域の方々と病院職員の交流に努めた。 <p>○院内に設置してある「ご意見箱」に投函された意見について、院内の掲示板でフィードバックするなど、患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 御礼・感謝8件、苦情14件、要望18件、その他1件 計41件 	
		項目/年度	H25	H26	H27																																																												
		請求件数	89	123	133																																																												
		開示件数	89	116	126																																																												
病院の環境	5																																																																
患者等からの相談	32																																																																
事例	7																																																																
患者等からの苦情	40																																																																
その他	22																																																																
項目/年度	H25	H26	H27																																																														
ポルトガル語	62	148	258																																																														
中国語	27	41	23																																																														
タガログ語	32	34	50																																																														
合計	121	223	331																																																														
項目/年度	H25	H26	H27																																																														
外来受入	22	22	23																																																														
他院紹介	44	46	59																																																														
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント		検証結果																																																							

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

1-1-3 診療体制の充実

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																											
H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																										
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価																										
<p>項目番号 03</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる「地域に開かれた病院」としての機能を果たす。そのため、「病診連携部」「退院調整室」「連携バス部」「自宅退院サポートセンター部」「入退院管理室」「なんでも相談室」の機能をさらに充実させ、患者動向や医療需要も把握し、診療体制の整備・充実を図る。</p> <p>また、時間外にも病診連携部で診療予約ができるようにし、患者や地域医療機関の便宜を図る。</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する医師等医療従事者の外部からの登用にあたり、その専門性に応じた処遇が可能となる人事給与制度の更なる活用を図る。</p> <p>また、定年退職者の再雇用制度を活用し、定年を迎えた職員について引き続き質の高い医療の提供に寄与する医師等医療従事者の雇用の充実を図る。</p>	<p>III</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。 <p>○組織・診療科等の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局内に重心施設運営準備室の新設 (H27.4.1) 小児療育内科の新設 (H27.4.1) 消化器画像診断センターの新設 (H27.10.16) 重症心身障がい児施設部門の新設 (H27.4.1) <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師については年俸制による雇用制度を活用し、高度な専門性を有する放射線診断科医 (消化器画像診断センター) を登用した。 放射線診断科医師 H26: 4人 → H27: 6人 非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる看護師、診療放射線技師等を再雇用し、更なる充実を図った。 看護師 H26: 1人 → H27: 4人 診療放射線技師 H26: 2人 → H27: 3人 		<p>項目番号 03</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携センターと医事課が中心となり、院内各部門と連携しながら、患者動向や地域の医療機関の状況把握・データ分析、地域連携クリティカルパスの運用、入院初期段階からの転院・退院調整等の充実に努める。 近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 急性期病院としての役割を担うため、手術室の診療体制の検討を行う。 <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事給与制度や再雇用制度等を基に、必要な職員の確保に努める。 定年を迎えた職員のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者の再雇用を充実する。 	<p>IV</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携予約が取りにくい整形外科・神経内科・消化器内科の予約枠の拡大や、ニーズの多い血管外科の常勤医の確保など、診療体制の充実を図った。 がん治療として地域から期待される高精度放射線治療システム (ノバリスTx) を利用した診療体制の充実を図った結果、強度変調放射線治療 (IMRT) などの患者数が増えた。 <p>【連携予約状況】 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>906</td> <td>1,019</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>713</td> <td>871</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,413</td> <td>1,738</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8,798</td> <td>9,604</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,830</td> <td>13,232</td> </tr> </tbody> </table> <p>【血管外科手術件数】 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>161</td> </tr> </tbody> </table> <p>【強度変調放射線治療 (IMRT) 患者数】 単位: 人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>197</td> <td>239</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員就業規則を改正し、非常勤職員にかかる定年制度を整備するとともに、今後、定年退職者が多数想定される中で、管理職以外の退職者の再雇用制度を整備し、安定的な診療体制の充実を図った。 	区分\年度	H26	H27	整形外科	906	1,019	神経内科	713	871	消化器内科	1,413	1,738	その他	8,798	9,604	合計	11,830	13,232	H26	H27	0	161	H26	H27	197	239	<p>III</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな診療対応を行った。 救急外来での外国人患者のため、通訳用タブレットを準備し、円滑な診療体制を構築した。 疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、午後7時以降の夜間透析や小児リハビリテーション、手外科リハビリテーションに取り組んだ。 (患者数) 夜間透析 2名 小児リハビリテーション 33名 手外科リハビリテーション 25名 <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合健診センター事務長について、病院事務局長経験者を採用し、総合健診センター部の組織体制の充実を図った。 定年退職を迎えた看護師のうち4名について、引き続き非常勤専門職として雇用した。
区分\年度	H26	H27																													
整形外科	906	1,019																													
神経内科	713	871																													
消化器内科	1,413	1,738																													
その他	8,798	9,604																													
合計	11,830	13,232																													
H26	H27																														
0	161																														
H26	H27																														
197	239																														
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果																										